

オーディオ実験室収載

LINN LP-12 の再構成(42) (HP 収載)

—総合試聴—

LINN LP-12 の再構成(41)に引き続き。今回は、I 氏にご来臨いただき、同様に現状を確認していただくことにしました。

2. LINN LP-12 その他総合試聴計画

まずは、耳慣らしのために、ケルテス指揮ウィーンフィルのドボルザークの新世界の LONDON 盤とショルティ指揮ウィーンフィルのワーグナーのワルキューレの LONDON 盤を聴いていただいた後、ご持参盤のイコライザー特性に応じた ZANDEN の設定条件の探索を行います。さらにクレンペラー指揮フィルハーモニアのヘンデルのメサイアの EMI 盤も聴いていただきます。

参考のために、STAGE+の配信で、フルトベングラーのドン・ジョバンニ、ポリーニのベートーヴェンのピアノソナタやワイゼンベルグとカラヤンのチャイコフスキイのピアノ協奏曲 1 番などを、Spotify のマリア・カラスのビゼーのカルメン、ショルティのワーグナーのワルキューレ、BPODCH のラトル指揮のワーグナーのワルキューレなども聴いていただきます。

3. LINN LP-12 その他総合試聴結果

ケルテス指揮ウィーンフィルのドボルザークの新世界の LONDON 盤とショルティ指揮ウィーンフィルのワーグナーのワルキューレの LONDON 盤は、DECCA、R、第 4 時定数 Mid で聴いていただきました。

ご持参盤のイコライザー特性に応じた ZANDEN の設定条件の探索を行いましたが、カラヤン指揮ウィーンフィルのヴェルディのアイーダの EMI 盤は、EMI、R、第 4 時定数 Low で、ユリウス・ルーテル指揮フィルハーモニアのマスネーのシンデレラは、Columbia、R、第 4 時定数 High でよさそうです。

ともに定位もよく、オペラの登場人物の 3 次元的立体感がでているとのご感想です。

上記の STAGE+、Spotify、BPODCH などの配信音源については、配信音源に馴染みの薄い I 氏ですが、アナログや CD との落差は、れほどでもないとのご感想でした。

4. まとめ

持参いただいたオペラの盤も含めて、イコライザーカーブや位相、さらには第 4 時定数も加え、盤の由来に応じた選択をすることの意義を感じていただけました。なお、ご持参盤の詳細と選択された詳細条件は、別途アナログ盤特性表としてオーデ

イオ資料室で公開いたします。

配信音源については、コンテンツの豊富さや音質面での進歩も評価していただけました。

以上